

改正容器包装リサイクル法施行に係る実態調査等事業費

82百万円(73百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

1. 事業の概要

本事業は、改正容器包装リサイクル法の施行に必要な、分別収集等に係るコスト、排出抑制策の進捗、プラスチック製容器包装リサイクルの高度化、再使用容器の普及に向けた環境負荷分析調査等の実態調査を実施するもの。

2. 事業計画

分別収集及び選別保管に係る市町村コストの実態調査並びに優良事例調査(平成18年度～)

- ・分別収集等に係る市町村の負担の把握及び模範的な事例を全国で紹介
容器包装廃棄物の排出抑制策に係る調査(平成18年度～)

- ・レジ袋使用削減の取組

容器包装廃棄物排出実態調査及び組成分析等調査(平成18年度～)

- ・再商品化義務量算定に必要な各種係数に係る基礎調査等

廃ペットボトルの輸出等市町村における独自処理に関する調査(平成18年度～)

プラスチック製容器包装リサイクル高度化推進調査(平成20年度～)

- ・市場で流通しているプラスチック製容器包装の調査、再商品化に伴う残さの有効利用等

リユース・リサイクルに伴う環境負荷等分析調査(平成19年度～)

- ・ワンウェイ容器とリターナブル容器の環境負荷について調査し、リターナブル容器の普及に必要な方策等について検討する

3. 施策の効果

模範的な事例を紹介することで、分別収集の質の向上が期待されるとともに、排出時の分別の適正化により、リサイクル製品の質の向上が期待される。

事業者、消費者が排出する廃容器包装の削減が期待される。

効果的な排出抑制策やリターナブル容器の普及を図ることで、廃容器包装の発生抑制が期待される。

4. 備考

改正容器包装リサイクル法施行に係る実態調査事業費 82,048千円

(目) 環境保全調査費(民間事業者に対する請負事業により実施予定)

(内訳)

分別収集及び選別保管に係る市町村コストの実態調査 並びに優良事例調査	7,662千円
容器包装廃棄物の排出抑制策に係る調査	9,999千円
容器包装廃棄物排出実態調査及び組成分析等調査	16,093千円
廃ペットボトルの輸出等市町村における独自処理 に関する実態調査	4,543千円
プラスチック製容器包装リサイクル高度化推進調査 事業	24,798千円
リユース・リサイクルに伴う環境負荷等分析調査	18,953千円

資源の有効利用

環境負荷の低減

リデュース・リユースが進んでいない

最終処分場がひっ迫

容器包装リサイクル制度

法改正

基本的方向

循環基本法における3R推進の基本原則にのっとった循環型社会構築の推進
社会全体のコストの効率化
国・自治体・事業者・国民等すべての関係者の協働

目標

Reduce

Reuse

Recycle

の推進
簡易包装

の推進
マイバッグ

意識の
変革

リターナブル
容器の
推進

普及
啓発

防止
ただ乗り

等々

ツール

モデル事業

表彰事業

国民運動

自主協定

推進員制度

等々

各主体の連携・共働による容器包装廃棄物の3Rの推進